

平成20年9月4日

じゅうだん会における「新融資支援システム」の共同化について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）は、じゅうだん会各行と「新融資支援システム（以下、新システム）」を共同化することで合意いたしましたので、お知らせします。

新システムは、融資業務の抜本的な業務効率化、より一層正確でかつ熟練を要しない事務処理体制、案件審査ノウハウの共有化・定型化などによる融資管理の高度化を目的に、じゅうだん会全行で検討してまいりました。これにより顧客サービスのさらなる向上を目指し導入するものです。

1. 「新システム」の概要

- （1）先進的なIT技術を取り入れます。電子稟議を軸とした分散系システムとして、融資案件の期日管理などの業務管理機能、業務処理に関するガイダンス機能などを搭載します。
- （2）本部・営業店のパソコンと基幹系（勘定系・情報系）システムを連結させ、タイムラグのない情報共有を行います。
- （3）分散系システムを「じゅうだん会共同版システム」の範囲に含めるのは本件が初めてとなります。

2. 「新システム」導入の効果について

- （1）案件審査や貸出業務を中心とした融資業務の効率化
- （2）案件組成レベルの向上や定型商品以外での案件審査のスピードアップ
- （3）業務負担軽減によるお客さま対応時間の拡大やサービス向上

3. 導入時期

平成23年度上期に試行を開始し、平成23年度下期を目処に全店に導入する予定です。

<じゅうだん会について>

八十二銀行が開発した基幹系システムを利用する銀行グループで、メンバーは八十二銀行のほか、当行、山形銀行、関東つくば銀行、阿波銀行、宮崎銀行、琉球銀行です。会員行は共同化システムである「じゅうだん会共同版システム」に順次移行しており、現在6行で同システムが稼働しています。

<システム共同化の効果>

- （1）新システム構築にかかわる開発費用は、各行での按分により大幅に削減できます。また、機器等の購入費用も共同化効果により削減が可能です。
- （2）全行の知恵を結集して、継続的な機能追加、システムの安定的な維持・保守などができ、将来にわたって共同化効果を楽しむことができます。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
融資企画部 熊谷 TEL：048-641-6111(内線 2501)
総合企画部 吉田 TEL：048-641-6111(内線 2180)